

TOKYO

商工連 Plaza

とうきょう商工連プラザ

商 工 会 は 行 き ま す 聞 き ま す 提 案 し ま す



CONTENTS

- ② 第64回通常総会を開く
- ③ 都青連・都女連通常総会を開く
多摩観光推進協議会を開く
- ④ 従業員を守るためのカスタマー・ハラスメント防止策
- ⑤ 各種助成金のご案内
- ⑥ 多摩・島しょ地域資源承継支援助成金のご案内
- ⑦ 多摩・島しょ地域のイベント(8月～9月)
- ⑧ 多摩おこし・島おこし(㈱藤電設工業/小平市)

モノづくりで
笑顔をつくりたい!

有限会社 藤電設工業

取締役社長 高橋 翼氏

P8に関連記事「多摩おこし・島おこし」を掲載

第64回 通常総会を開く

令和6年度の事業、決算などの7議案を承認 東京都商工会連合会

東京都商工会連合会は5月29日、立川市のホテルで「第64回通常総会」を開催しました。山下真一会長の挨拶の後、議長に渡部完治理事（調布市商工会会長）を選び、議事を進めました。令和6年度決算関係の5議案と定款変更、役員補欠選任の2議案を審議し、原案通り可決承認されました。

冒頭の挨拶で山下会長は、厳しい経済情勢下で事業運営に取り組んでいる各商工会長に敬意を表するとともに、長期にわたる物価高騰や人手不足、事業者の高齢化や担い手不足など、諸課題への対応について「役職員一体となって課題に立ち向かい、27商工会が役割と機能を十分に発揮できるよう支援していく」と力強く語りました。

総会后、引き続き表彰式・懇親会が行われました。小澤元樹関東経済産業局産業部長、大川徳明東京都産業労働局商工施策担当部長をはじめ、関連支援機関、金融機関から多数の来賓にご出席いただきました。



挨拶する山下会長

表彰された皆様

【関東経済産業局長表彰】

■女性部功労者

▽西東京商工会 女性部長 澤野良子

【東京都産業労働局長感謝状】

■役員功労者

▽三鷹商工会 副会長 吉田純夫▽清瀬商工会 会長 内野光裕▽小金井市商工会 副会長 渡邊恭秀▽同理事 松井大平▽狛江市商工会 会長 佐藤高志▽調布市商工会 会長 渡部完治▽同理事 大前勝巳▽東久留米市商工会 会長 齋藤正人▽同副会長 奥住栄一郎▽国立市商工会 会長 桂耕史▽同副会長 渡部栄一郎▽八丈町商工会 理事 佐藤正紀▽稲城市商工会 理事 進藤典吾▽同理事 伊原勇▽瑞穂町商工会 会長 関根輝明▽同副会長 久松元大▽昭島市商工会 理事 河辺光利▽新島村商工会 副会長 植松育▽神津島村商工会 会長 鈴木好人▽小笠原村商工会 副会長 前田豊

【東京都商工会連合会会長表彰】

■役員功労者

▽三鷹商工会 理事 石井徹▽同理事 関口博行▽同理事 高橋淑夫▽同理事 中山正治▽同理事 深沢洋史▽同理事 山中健一▽同理事 渡邊幸治▽国分寺市商工会 理事 鈴木茂▽同理事 金原洋一▽日野市商工会 理事 井上隆大▽同理事 盛寿成▽同理事 矢内智洋▽同理事 大久保彰紀▽同理事 亀山孝一▽清瀬商工会 理事 篠宮修▽小平商工会 理事 庭野勉▽同

理事 安齋圭太郎▽同理事 熊添千重▽同理事 森幸比佐▽小金井市商工会 理事 益田智史▽同理事 谷合正明▽同理事 堀越多恵子▽西東京商工会 理事 澤野良子▽同理事 新井政次▽同理事 是永康子▽同理事 桜井英敏▽同理事 尾口勉▽同理事 倉島智▽同理事 岡田勇▽同理事 山本恵司▽狛江市商工会 理事 小川克美▽同理事 楠瀬大一郎▽同理事 口岩洋伸▽同理事 篠浩司▽同理事 恒松孝典▽同理事 藤田利佐夫▽同理事 分道正▽同理事 本橋秀郎▽同理事 谷田部一之▽大島町商工会 理事 阿部欣一郎▽同理事 三間伊織▽同監事 高木久司▽調布市商工会 副会長 秋沢淳雄▽同副会長 玉村秀樹▽同理事 相田英俊▽同理事 品川信幸▽同理事 杉崎吉則▽同理事 大槻真也▽同理事 鳩山恵子▽福生市商工会 理事 葛西哲則▽同理事 細谷博司▽同理事 堀江浩一▽同理事 山下裕弘▽東久留米市商工会 理事 山下雅章▽同理事 鈴木栄一郎▽同理事 木村隆一郎▽同理事 大木隆幸▽同監事 五十嵐さよみ▽東村山市商工会 理事 細瀬清▽同理事 藤原公子▽同理事 山本しのぶ▽国立市商工会 理事 大石修▽同理事 鈴木幹雄▽同理事 北島健太郎▽同理事 小野淳▽同理事 北島康男▽あきる野商工会 理事 岡野悦史▽同理事 鈴木好紀▽同理事 南澤宝▽東大和市商工会 理事 佐藤慶一▽同監事 小美野和典▽武蔵村山市商工会 理事 金井一三▽同理事 峰岸喬▽同理事 内野治樹▽同理事 森田保弘▽同理事 木場紳介▽同理事 佐藤悟志▽同理事 佐々木三男▽同理事 川島幹生▽同理事 進藤修一▽同理事 指田浩孝▽同理事 高橋秀幸▽同理事 比留間大介▽八丈町商工会 理事 雨森孝夫▽同理事 沖山芳樹▽同理事 高橋宗一▽同理事 峯元たけ子▽稲城市商工会 理事 桑本幸彦▽羽村市商工会 副会長 小島昌夫▽同理事 中条悟▽同理事 山下敬一▽同理事 大和田正樹▽同理事 小作敏之▽三宅村商工会 理事 沖山厚子▽同理事 小島幹生▽瑞穂町商工会 副会長 小峰育子▽同理事 田中宗喜▽同理事 坂本庸芳▽同理事 吉岡和彦▽昭島市商工会 理事 井上光市▽新島村商工会 理事 中田公一郎▽同理事 天野律子▽神津島村商工会 理事 河合隆夫



▲第64回 通常総会の様子

【商工貯蓄共済新規加入成績優良商工会表彰】

▽日の出町商工会

【全国商工会会員福祉共済新規加入成績優良商工会表彰】

【新規加入人口数部門】

▽三鷹商工会▽大島町商工会▽狛江市商工会

【商工会等職員永年勤続感謝状】

▽昭島市商工会 松元健一▽同 濱中敬二▽武蔵村山市商工会 来栖一郎▽東大和市商工会 桐生進▽狛江市商工会 寺田美由紀▽東京都商工会連合会 小澤孝一郎▽同 柿沼尉也▽同 海老澤秀明

（敬称略、役職は令和6年度）

都青連

新会長に中村文亮氏を選任

(小金井市商工会)

第58回

通常総会を開く

東京都商工会青年部連合会(都青連)は5月8日、調布市のホテルで「第58回通常総会」を開き、任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に中村文亮氏(小金井市商工会青年部)を選任しました。任期は2年間です。なお中村新会長は、同29日の東京都商工会連合会の通常総会で理事に就任しました。

総会では、役員改選を含む、令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画案・収支予算案など4議案が提出され、承認されました。

新会長に選ばれた中村氏は、「誠実な姿勢で絆を育み、紡ぎ、地域振興発展と青年部員の成長を目指す」という思いを込めて、スローガンに「誠意と絆で未来を切り拓く」を掲げました。

和やかにバトンタッチ。
木下智之前会長(右)と
中村文亮新会長(左)



都女連

「第43回 通常総会」を開く

東京都商工会女性部連合会(都女連)は4月22日、立川市のホテルで「第43回 通常総会」を開催しました。

総会は露木副会長の開会の辞に続いて、佐藤会長が挨拶しました。議長には植松部長(新島村商工会女性部)を選び議事進行をし、令和6年度事業報告・収支決算および令和7年度事業計画案・収支予算案など3議案が提出され、承認されました。

令和7年度は、大島町商工会女性部との交流・島内視察や前橋市で開かれる「関東ブロック商工会女性部交流研修会」、越前市で開催される「商工会女性部全国大会」への参加を計画しています。

東京都商工会女性部連合会
第43回 通常総会

▲挨拶する佐藤会長

「留学生を対象とした観光ルートモニターツアー」などを展開

第9回

多摩観光推進協議会を開く

多摩観光推進協議会(会長:山下真一東京都商工会連合会会長)は4月15日、八王子市のホテルで第9回協議会(総会)を開き、「令和6年度事業報告」と「令和7年度事業計画」の2議案が提出され、承認されました。冒頭、挨拶に立った山下会長は「国内外旅行者を多摩地域へ誘致することを目的とした事業も、3年間の延長決定から1年が経過し現在2年目となった。インバウンドの需要が過去最高になったことを受け、多摩地域の観光の関心も

高まり、明るい兆しを感じている。今後も多摩地域の魅力である自然・文化・食の観光資源を活用して魅力発信に取り組んでいきたい」と述べました。

令和7年度の事業計画では新規事業として「留学生を対象とした観光ルートモニターツアー」、「電子雑誌(旅色FO-CAL)による観光情報発信事業」等を追加し、多摩地域への旅行客の誘致を目指します。



◀協議会の様子

従業員を守るための カスタマーハラスメント防止策

東京都では、2025年4月1日から「カスタマーハラスメント防止条例」が施行されました。

全国の都道府県で初めて制定されたこの条例は、カスタマーハラスメント（カスハラ）の抑制を目的としており、顧客による不当な要求や言動から従業員を守り、より良い労働環境を実現するための重要な施策です。

カスタマーハラスメントとは？

顧客が企業に対して理不尽なクレームや言動を行い、業務に支障をきたす迷惑行為を指します。

人格を
否定する言動

電話等での拘束、
わいせつな言動

長時間の居座り、
つきまとい行為

SNS等で顔や
名刺を晒す、
名指して中傷



事業者としての取り組み

防止 対策

- 基本方針等の作成や周知
- 就業者への教育研修
- 定期的な見直しや対策の継続
- 被害防止のための手引(マニュアル)の作成

▶ カスタマーハラスメントがあった際

- 被害を受けた者への配慮
- 相談窓口の設置と体制の整備

取り組み ① 基本方針等の作成や周知

組織の基本方針を明確化し、就業者や外部に広く周知します。従業員の人権を尊重し、ハラスメントを放置せず毅然と対応することで安心感を醸成します。

取り組み ② 就業者への教育研修

カスタマーハラスメントへの対応力を強化するため、従業員向けの研修を定期的実施し、対応手順や未然防止策を学びます。経営層や管理職も含めた研修を行い、組織全体で意識を高め、適切な対応ができる環境を整えます。

取り組み ③ 定期的な見直しや対策の継続

カスタマーハラスメント対策だけでなく、正当なクレーム対応も含め、定期的に成功例・失敗例を共有し、改善策を検討します。経営層の発信や研修の見直しを行い、従業員の意識向上と再発防止を図ることが重要です。

取り組み ④ 被害防止のための手引の作成 (マニュアルの作成)

カスタマーハラスメント発生時の初期対応方法を事前に策定し、従業員の安全を確保しながら適切に対応できる体制を整えます。

カスタマーハラスメント対策 企業マニュアル
厚生労働省より→

<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000915233.pdf>



取り組み ⑤ 被害を受けたものへの配慮

カスタマーハラスメント発生時は、事実関係を正確に確認し、適切に対応することが重要です。また、精神的・身体的なケアを行い、専門家と協力して従業員をサポートします。

取り組み ⑥ 相談窓口の設置と体制の設備

カスタマーハラスメントに対応する相談窓口を設置し、従業員に広く周知します。適切な対応を可能にするほか、相談者のプライバシー保護を徹底することで安心して相談できる環境を整えます。

企業向け奨励金

東京都では、顧客等と働くすべての人が対等な立場に立って、お互いに尊重し合う公正で持続可能な社会を目指し、団体や企業等におけるカスタマーハラスメント防止対策を推進する様々な取り組みを展開しています。

概要	マニュアル作成に加え、対象経費の3つのうちの1つの取り組みを行った企業に対し奨励金を支給
規模/金額	(3か年で) 10,000件/定額40万円
主な支給要件	(1) カスハラ防止マニュアルの作成 (2) 以下①～③いずれかひとつの対象の取組の実施 ①録音・録画環境の整備 ②AIを活用したシステム等の導入 ③外部人材の活用
ホームページ	 奨励金の最新情報など詳細については、TOKYOはたらくネットのホームページ (二次元バーコードからご覧いただけます)をご確認ください。 https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/ryoritsu/kasuhara/index.html

▼ 各種助成金のご案内 ▼

TOKYO地域資源等を活用したイノベーション創出事業

TOKYO地域資源等を活用したイノベーション創出事業は、東京ならではの多様な「地域資源」を活用した新製品・新サービス開発、または東京の都市課題を解決するための新製品・新サービス開発に取り組む中小企業者等を支援する制度です。

・経費助成

対象事業	地域資源を活用した、新製品・新サービスの開発・改進黨業 東京の都市課題を解決するための新製品・新サービスの開発・改進黨業
対象者	都内に本店又は支店があり、そこで1年以上事業を実施している中小企業者(会社・個人事業者)、 中小企業団体等、一般財団法人・一般社団法人・特定非営利活動法人
対象経費	開発・改良に要する経費の一部(直接人件費が含まれます)
助成限度額/助成率	1,500万円(助成対象経費の1/2以内)※「都市課題」のうち、環境・エネルギー分野の場合は2/3以内
対象期間	令和7年11月1日から令和9年10月31日まで(最長2年)

・ハンズオン支援

専門家が申請前にはビジネスモデルに関する相談に応じ、採択後は助成事業の開発・改良に関する助言及び進捗管理をサポートします。

問い合わせ先**【制度全般に関すること】**

東京都産業労働局商工部地域産業振興課 電話:03-5320-4755

【助成金に関すること】

(公財)東京都中小企業振興公社助成課 電話:03-3251-7894

【ハンズオン支援に関すること】

(公財)東京都中小企業振興公社総合支援課 電話:03-3251-7882

募 集

令和7年7月1日(火)より申請書類の受付を開始。

【公社ホームページ】

<https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyochiiki.html>



事業環境変化に対応した経営基盤強化事業

ポストコロナ等における事業環境の変化を課題と捉え、対応策として、事業者が創意工夫のもと「これまで営んできた事業の深化又は発展」に取り組み、これが経営基盤の強化につながると認められた場合に、当該取組に必要な経費の一部を助成します。

【取組例】**●既存事業の「深化」:経営基盤の強化に向け、既に営んでいる事業自体の質を高めるための取組**

- ・高性能な機器、設備の導入等による競争力強化の取組
- ・高効率機器、省エネ機器の導入等による生産性の向上の取組
- ・既存の商品やサービス等の品質向上の取組

●既存事業の「発展」:経営基盤の強化に向け、既に営んでいる事業を基に、新たな事業展開を図る取組

- ・新たな商品、サービスの開発
- ・商品、サービスの新たな提供方法の導入
- ・その他、既存事業で得た知見等に基づく新たな取組

	一般コース	小規模事業者向けアシストコース NEW!
対象者	以下のいずれかに該当する都内中小企業、小規模事業者等 ①直近決算期の売上高が「2023年の決算期」と比較して減少 ②直近決算期において損失を計上 ③米国関税措置の影響を受けている又は受ける見込みがある企業	以下のいずれかに該当する都内小規模事業者等 ①直近決算期の売上高が「2023年の決算期」と比較して減少 ②直近決算期において損失を計上
対象経費	原材料・副資材費、機械装置・工具器具費、委託・外注費、設備等導入費、システム等導入費、専門家指導費、不動産賃借料、販売促進費等	機械装置・工具器具費、設備等導入費、システム等導入費等
助成限度額	800万円	200万円
助成率	助成対象経費の2/3以内 ※賃金引上げ計画を策定した場合3/4以内 (うち、小規模事業者は4/5以内)	助成対象経費の2/3以内 ※賃金引上げ計画を策定した場合4/5以内
助成期間	交付決定日から1年間	交付決定日から1年間
募 集	第6回までを予定	第5回までを予定
募集回	第2回 令和7年7月1日から7月14日まで 第3回 令和7年9月1日から9月12日まで	第2回 令和7年 8月1日から 8月14日まで 第3回 令和7年10月1日から10月14日まで
公社 ホームページ	 https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyochiiki.html	 https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyochiiki.html

問い合わせ先：事業環境変化に対応した経営基盤強化事業事務局

TEL:03-4446-2560 受付時間:平日9:00~16:30 ※年末年始(12月29日~1月3日)を除く

申請要件や締切など詳細については、各助成金のホームページ(二次元バーコードからご覧いただけます)をご確認ください。

事業承継時に活用できる助成金 『多摩・島しょ地域資源承継支援助成金』のご案内

申請期限
迫る!

多摩・島しょ経営支援拠点(東京都商工会連合会)では、多摩地域および島しょ地域の小規模事業者が事業承継時にご活用いただける『多摩・島しょ地域資源承継支援助成金』を実施しています。

本助成金は右記の3タイプがあり、今回はその中からAタイプ(承継前)について、活用事例や制度内容をご紹介します。円滑な事業承継に向けて、是非ご活用ください。

Aタイプ	事業承継 前
Bタイプ	事業承継 後
Cタイプ	第三者承継

下記2つに ☒ が入る事業者は対象となる可能性があります

- ☒ 3年以内に事業承継を予定している小規模事業者
- ☒ 多摩・島しょ地域で5年以上継続して事業を営んでいる

活用事例

息子への事業承継を予定していますが、ここ数年は売上が伸び悩んでいます。

息子が事業を引き継いだ後に苦労しないよう、以前のようにたくさんのお客様にご来店いただけるお店にしたいので、助成金を活用して集客力を高めたいと考えています。



助成金 新規顧客の獲得に向けた広報

① 商圏を広げる

多くの方に当店の魅力を知ってもらうために、配布エリアを広げたチラシのポスティングを実施



② 視認性を高める

通行客に当店を見つけてもらうために、ファサード(外観)の改修を実施



成果 新規顧客の獲得で売上増加

① 隣駅からもご来店

チラシを見て隣駅にお住まいの方にもご来店いただけるようになりました。

② 見つけやすく、入店しやすいお店へ

外観が明るくなったことで、お店が見つけやすくなり、初めてのお客様も入店しやすくなりました。

後継者の
モチベーションも
向上



後継者への円滑な事業承継

■ 助成率／助成限度額

助成率	2/3以内
助成限度額	50万円

■ 助成対象経費

事業の磨き上げに必要な経費など

■ 申請期限

<第2次 提出期限> 7月18日(金)

<第3次 提出期限> 8月29日(金)

※簡易書留等の記録が残る方法で郵送 (期限日消印有効)

■ お問い合わせ先

東京都商工会連合会

多摩・島しょ経営支援拠点 事業承継支援室

Tel.042-518-9578

《受付時間》 9:00~17:30/土日・祝日除く

当助成金の各タイプの詳細・募集要項等は
右記の二次元バーコードよりご確認ください。
<https://t2bizx.tokyo/biz-succession/>



皆さまの事業承継に
ご活用いただいております



令和6年度事業承継支援事例集より

「出会い」「学び」「交流」によりものづくりを担う人材の成長を応援

「多摩ものづくり未来応援塾」の 2期生を募集

「多摩ものづくり応援団(団長:相馬光学浦信夫会長)」では多摩地域の将来のものづくりを担う人材の成長を応援する「多摩ものづくり未来応援塾(以下では、未来応援塾という。)」の2期生を募集します。第1期は昨年9月にスタート、今年2月に塾生16名が全員卒業しました。

第2期の未来応援塾はオリエンテーションと6回の本講義、1回の特別講義で構成され、日程、会場、テーマ、講師等は下のとおりですが、詳細は「多摩ものづくり応援団」事務局までお問い合わせください。

■未来応援塾は多摩地域のものづくり中小企業が活力を維持、発展するため重要な新市場進出、事業革新、人材の確保・育成等の「事業創造」に積極的にチャレンジできる人材の成長を応援します。

■対象は20歳から45歳程度のものづくり関係者(経営者、後継者、従業員、支援機関・団体等職員)と幅広く、定員は10名程度(1期生は16名)です。

■講義と軽食をとりながらの3時間は、塾生が新たに「出会い」、事業創造に必要な考え方や実践方法等を「学び」、仲間や先輩などと「交流」する場であり、塾生以外の参加も可能です。

■「多摩ものづくり応援団」は多摩地域の経営者OBを中心に2023年に設立され、多摩地域のものづくりを応援するため未来応援塾を実施しています。

募集期間:令和7年7月1日(火)～8月8日(金)

◎入塾を希望される場合は以下にご連絡ください。

「多摩ものづくり応援団」事務局

(東京都商工会連合会 多摩・島しょ事業創造支援拠点内)

電話 042-518-9577

Eメール t2bizx@shokokai-tokyo.or.jp

◆会場:産業サポートスクエア・TAMA

東京都商工会連合会会議室(特別講義及び第3回は別会場)

◆参加費:無料(但し実習等で必要な費用は自己負担)

日程	内容・講師
8月28日(木) 18:00～21:00	【オリエンテーション】・参加者交流会 多摩ものづくり未来応援塾の目的と内容について 事務局 令和6年度多摩ものづくり未来応援塾に参加して 未来応援塾第1期生
9月18日(木) 18:00～21:00	【開講式】 第1回 これからのものづくり、これまでのものづくり (I) 講師:多摩ものづくり応援団副団長 静岡県立大学・兵庫県立大学大学院客員教授 小川 正博 氏
10月6日(月) 15:30～17:00	【特別講義】 ホテルエミシア東京立川 これからのものづくり、これまでのものづくり (II) 講師:西武信用金庫 理事長 高橋一朗 氏
10月16日(木) 18:00～21:00	第2回 これからのものづくり、これまでのものづくり (III) 講師:株式会社相馬光学 代表取締役 浦 明子 氏 株式会社ナガセ 代表取締役 長瀬 雄一郎 氏 ※他1名の方依頼中
11月20日(木) 14:00～17:00	第3回 ものづくり中小企業における経営戦略と製品開発 ※工場見学、現地講義 講師:多摩ものづくり応援団員 株式会社エイム 取締役会長 小山 孝 氏
12月18日(木) 18:00～21:00	第4回 DXで磨きをかける、ものづくり中小企業の優位性 講師:杉並電機株式会社 代表取締役 福田 礼彦 氏
1月15日(木) 18:00～21:00	第5回 ものづくり中小企業の製品開発と販路開拓 講師:株式会社ミューテック35 代表取締役 谷口 栄美子 氏
2月26日(木) 15:00～18:00	第6回 これからのものづくりについての私の考え方 全塾生が卒業発表 【閉講式】

8月9月 多摩・島しょ地域のイベント

中止あるいは延期されることもあります。念のため、主催者に日にち・会場などを確認の上、お出かけください。

日程	イベント名	会場	主催者・問合せ先
7月 31日(木)～ 8月2日(土)	清瀬市 清瀬ひまわりフェスティバルBAR～きよ飲み!!～ チケットを購入して、バル特別セットメニューを飲み歩き。	清瀬駅周辺飲食店	清瀬市観光協会 (042-497-1842)
8月 1日(金)～ 2日(土)	神津島村 物忌奈命神社例大祭「かつお釣り神事」 漁業の安全と豊漁を祈願し、漁師の若衆が境内を漁場にみため、鯉の一本釣りの所作をし、お菓子やおひねりを撒く。	物忌奈命神社境内	神津島村役場 (04992-8-0011)
2日(土)	あきる野市 あきる野市市制施行30周年記念 第20回あきる野夏まつり 模擬店、イベント、山車・神輿パレード、ステージイベント	秋川駅前大通りを中心とした地区	第20回あきる野夏まつり運営委員会
8日(金)～ 10日(日)	福生市 第75回福生七夕まつり 市民模擬店やステージイベント	福生駅西口周辺	福生七夕まつり実行委員会事務局 (042-551-1699)
9日(土) 悪天候の場合は8月 10日(日)または8月 11日(月・祝)に順延	大島町 第45回伊豆大島夏まつり 毎年恒例の伊豆大島夏まつり及び花火大会を開催! 夏の観光シーズンを盛り上げるため、飲食屋台や物販、ステージ、子供向け緑日など大人から子供まで楽しめるイベントを予定しています!	伊豆大島元町港ロータリー周辺	伊豆大島夏まつり実行委員会 (04992-2-3791)
10日(日)	新島村 観音様夜祭 夏の風物詩。夜店が並び、ふるさと祭り	商工会館駐車場	新島村商工会 (04992-5-1167)
16日(土)～ 17日(日)	三鷹市 第58回三鷹阿波おどり 三鷹市内外から20を超える連(グループ)が集結し会場をお囃子と踊り手で練り歩く。	JR三鷹駅南口、三鷹駅前銀座通り及び三鷹駅南口中央通り	三鷹阿波踊り振興会 (0422-49-3111)
23日(土)～ 24日(日)	昭島市 第53回昭島市民くじら祭 23日:花火打上 24日:大くじらパレード 両日:メインステージイベント、模擬店	昭和公園陸上競技場ほか	昭島市商工会・昭島市民くじら祭実行委員会 (042-543-8186)
30日(土)	武蔵村山市 第44回武蔵村山市観光納涼花火大会 花火打上、即売、アトラクション	野山北公園運動場	武蔵村山市商工会青年部 (042-560-1327)
9月 6日(土)	稲城市 第24回稲城阿波おどり大会 地元連、招待連による阿波おどり大会	京王よみうりランド駅周辺	稲城市商店会連合会 (稲城市商工会内:042-377-1696)
8日(月)～ 10日(水)	三鷹市 三鷹でちよい呑みハシゴ酒 1冊3枚綴りのハシゴ券を使って、好きな3軒の協力店を巡り「ハシゴ酒セット(1ドリンク&おつまみ1品以上)」を楽しむイベント	三鷹駅南口側を中心としたエリア	三鷹商工会商業部会第3ブロック・三鷹商工会青年部 (0422-49-3111)
13日(土) ※荒天時は9月14日(日)に順延。	大島町 第2回伊豆大島しおかぜ映画館 重要な舞台のひとつとして伊豆大島が劇中で登場するシリーズ第16作「ゴジラ(1984年)」を上映します!大島と縁のある作品を、屋外に特設する超巨大スクリーンで鑑賞できる、一夜限りの特別な「映画体験」をお楽しみください!	大島メモリアル公園 ※両日荒天の際は屋内施設に会場変更	大島町商工会 (04992-2-3791)
13日(土)～ 15日(月)	八丈町 ふれあい交流事業 (島コン2025) 東京羽田空港から飛行機で5分、そこは青い海と豊かな自然が広がる「楽園」八丈島。そんな美しい景色に包まれて素敵な出会いを探しに来てみませんか?	八丈島内	八丈島婚活運営委員会 (04996-2-2121)

この人に聞く

多摩おとし・
島おとし

小平市

No.45

モノづくりで
笑顔をつくりたい!有限会社 藤電設工業
取締役社長
高橋 翼 氏

(有)藤電設工業は、昭和45年に先代が小金井市にて創業した精密板金加工工場です。区画整理に伴い小平市へ移転し、平成29年に高橋社長が事業を引き継ぎました。主に業務用ビールサーバーの部品、厨房設備の特注部材、大手企業の試作特注品などを製造しています。ステンレス加工、溶接の技術は取引先からも高く評価され、スポット溶接の資格を取得したことにより受注の幅が広がっています。

さらに、最近では全国の個人ユーザーとの取引も増加しており、無線機のフレームや車のルーフに使用する特注部品なども手掛けています。

【事業を引き継いで大変だったこと】

学生時代は機械工学を専攻していたこともあり、設計や製造は慣れ親しんだ分野ではありましたが、卒業後はサービス業に従事していたため、このまま事業を引き継いでいけるか不安もありました。一部からは心配する声もありましたが、「サービス業で培った営業力を活かせばなんとかなるだろう」と、なりふり構わず取り組んでできました。

右も左もわからず、まずは現場を知ることからスタートしましたが、学ぶべきことも多く、ベテラン従業員もいる中での業務改善には時間が掛かりました。振り返ると、リーマンショック直後の厳しい経営環境下で「よくやってこれたな」という思いです。

【仕事をしていく上で大切にしていること】

「三方よしの精神」で、お客様の輪、協力会社の輪、社員の輪が交わり、全ての人が「関わることが

できて良かった」と思える仕事をするように心掛けています。

また交流の大切さも実感しており、昨年は、モノづくりを担う人材の成長を応援する事業として「東京都商工会連合会」と「多摩ものづくり応援団」が合同でスタートさせた『多摩ものづくり未来応援塾』に参加しました。学びを通じて多くの出会いがあり、ビジネス、プライベートと様々なシーンでつながりを築くことができました。

【今後の展望】

協力会社の数は年々増えていますが、協力会社同士の横のつながりだけでは一方向の考えが多く、視野も狭くなりがちです。

現在、こうした状況を改善すべく、取引先の方々、セクションの方や、モノづくりに興味のある学生など、普段は交流することのない者同士が多層構造でつながり、情報交換するための「モノづくりに特化したプラットフォーム」の構築を進めています。

当社の経営理念は、「モノづくりを通して人々の笑顔と仲間の輪を造ること」です。一緒に働く従業員はもちろん、協力会社、そしてお客様、みんなが笑顔になれるモノづくり企業として、『業界のできない』を解決するために最適な手段を提案し、人間味あふれるチームで地域に根付く企業を目指していきます。

▶ 二次工程の作業をしているスタッフ



有限会社 藤電設工業

〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-144-7

TEL: 042-343-1500

URL: fuji-den.com

▶ フル稼働するタレットパンチプレス

